



日本トレーラーハウス協会は現地の災害対策本部の依頼を受けて、無償で数日間提供できるトレーラーハウスを準備し、写真にある3台の車両を被災地に送ったのだが、その場所にはすでに多くのトレーラーハウスが現地入りしていたという。同協会はそのときに違法行為を行う業者の存在を知ったそうだ。

5 トレーラーハウス 熊本被災地で違法業者が暗躍 トレーラーハウスの活用に危惧

取材協力：一般社団法人日本トレーラーハウス協会 TEL：03-5614-0941 www.trailerhouse.or.jp

4月に起きた熊本大地震から約2カ月。復旧から復興に移り変わりつつあるなかで、トレーラーハウスの仮設住宅としての活用に注目が集まっている。ところが、違法な手段を用いて被災地にトレーラーハウスを持ち込み、営業活動を行っている業者が現れはじめているようだ。

トレーラーハウスは仮設住宅にも最適

日本で地震被害が起こるたびにトレーラーハウスの仮設住宅としての活用が目される。トレーラーハウスは海外ではキャンピングトレーラーと呼ばれるキャンピングカーの一種だが、日本では公道を移動できる保安基準のサイズを超えてしまうこともあるため、「自動車を利用した工作物」として一定期間その土地に定置して住居や店舗などに利用するもの、通常のキャンピングカーと区別するためにトレーラーハウスと呼んでいるのである。

トレーラーハウスは建築物でもなければクルマでもない、逆に言えば建築物でもありクルマでもあるため、定義するのが非常に難しい存在である。そもそも海外の文化を日本に輸入したもので、しっかりとした法整備もされていない。ただし、その活用法にはさまざまな可能性がある。本誌でも以前にトレーラーハウスの店舗・事務所としての活用法を紹介したが、災害時には仮設住宅として活用するのにも最適である。基礎工事が不要なので通常の建築物よりも低コストで工期も短くて済む。さらには別の場所でも家具・家電を設置した状態での移動が可能であり、土地側の準備が整っていればライフラインとの接続のみで即日入居することができる。また仮設住宅で

は使用後の解体にも費用がかかるが、トレーラーハウスであれば売却することも、別の場所に移動して使用することもできるのである。例えば、平時はキャンプ場のコテージなどとしてある程度の台数を確保しておいて、災害が起きた際にはすぐに移動させれば迅速な仮設住宅の設置が可能になるだろう。

被災地での販売目的で違法行為を行う業者も

以上のように、トレーラーハウスは災害時の備えとしても有効活用できるものである。震災で家を失って避難所での宿泊や車中泊をしている被災者にとっては仮設住宅としてトレーラーハウスを切望している人も多いことだろう。しかし、そのような需要を見越して、現在熊本の被災地には数多くのトレーラーハウス業者が現地入りしているのだ。

別に被災地で営業活動したからといって何ら問題はない。被災者を食い物にするようではあまり良くないが、すぐにでもトレーラーハウスを購入したいという人は現にいます。ことだろうし、そうした業者を非難するつもりもない。ただし、そうした業者のなかには違法な手段を用いてトレーラーハウスを現地に移動させているものがあるのだ。

日本トレーラーハウス協会以下、JTHA)によると、同協会の加盟会社がGW期間中に高速道路を違法

に走行するトレーラーハウスを目撃している。トレーラーハウスの移動は、車検を取得していない保安基準第2条の制限を超えるサイズのものについては特殊車両通行許可を取得しなければいけないし、なおかつ車幅3mを超えるものについては高速道路を走行することはできない。同協会の加盟会社が目撃したものは明らかに車幅3mを超えるものだったという。おそらくこうした業者は、災害特措法で従来なら1カ月以上かかる通行許可申請が1週間に短縮されたことで、細かいチェックがないのを利用し、寸法を偽って不正に通行許可を受けるとしている。

JTHAの調査によると、この不正通行を行った業者は東日本大震災の際にも同様の違法行為を行い、検挙、書類送検されている。東日本大震災のときにはこのような違法業者が現地ですさまざまなトラブルを起こしたせいで、宮城県では現在、トレーラーハウスは一切認めず、すべて建築物扱いとなつて、家を建てるのと同様に事前の建築確認申請が必要になってしまったのである。いまそれと同じことが熊本でも起ころうとしている。

彼らのような違法行為を行う業者が信頼できるはずもないし、もしかしたら詐欺まがいの行為を行っている業者もいるかもしれない。そのようなことが東日本大震災の際には実際に起きていた。こうした状況を受けてJTHAでは、地元警察等に取り締めの強化を依頼するとともに、このような悪質な業者の存在について注意喚起を行っている。